

大腸内視鏡の予約票・説明書及び同意書

氏名 様
 検査日時 年 月 日 () 時 分

- ・ 大腸内視鏡検査は、内視鏡を肛門から挿入して、大腸内をくまなく観察し、癌やポリープ、炎症等を見つげるために行う検査です。必要な場合には病変部より組織を採取して、病理組織的検査により良性か悪性かなどを診断します。
- ・ 検査時間は30分くらいです。ポリープ切除がある場合は10分くらい長くなります。
- ・ 当院では、より楽に検査を受けられるよう、鎮痛剤・鎮静剤などを使用して眠っている間に検査することもできます。鎮静剤を使用した場合、検査後終日、自動車・バイク・自転車等の運転を控えて頂く必要があります。詳しくは、検査医師とご相談ください。
- ・ 検査による偶発症として1. 出血 2. 消化管穿孔等が挙げられます。万一これらの偶発症が生じた場合には、最善の処置を行います。
- ・ 消化管の動きを抑える目的で、検査中に鎮痙剤を注射（筋肉注射か静脈注射）することがあります。一時的ですが、薬の反応で動悸や口渇が出現したり、目のピン트가合わなくあつてまぶしく感じたり、尿が出づらくなる場合があります。
- ・ 偶発症を避けるため、下記に該当される方はお申し出ください。
 - ① 血液をサラサラにする薬を服用している（バファリン、アスピリン、パナルジン、ワーファリン、プラビックス、プレタール、エパデールなど）
 - ② 緑内障・心臓病・前立腺肥大・薬によるアレルギーがある
 - ③ 妊娠及びその可能性がある（原則として内視鏡検査は行いません）

<前日>

- ・ 朝から野菜・海藻・きのこ・こんにゃく・果実の種・ごまはできるだけ控えてください。夕食は午後8時までにお済ませください。昼からの食事は、おかゆ、素うどん、卵、豆腐、白身魚など、消化の良いものにしてください。
- ・ 夕食後、午後8時以降は水・お茶・果実の入っていないジュース（スポーツドリンクなど）は摂取して頂いて結構です。これらの水分を摂る量については制限ありません。就寝前に錠剤の下剤を内服してください。

<当日>

- ・ 朝から検査が終わるまでは絶食です。ご自宅で朝から腸管洗浄液を服用していただきます。1.8Lの腸管洗浄液を約2時間で服用していただきます。腸管洗浄液の服用のみでは、検査準備は不十分です。服用後はさらに水・お茶を飲んでください。腸の中がきれいになるのに3~4時間くらいかかります。

このたび上記のとおり内視鏡検査の必要性和偶発性の可能性についての説明を理解しましたので、検査・処置・治療を受けることに同意します。

平成 年 月 日

患者 氏名

印

*内視鏡による定期的な検査のお知らせを 希望する 希望しない